

令和7年度第1回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会
- 2 開催日時 令和7年6月26日（木） 午後2時から午後3時25分まで
- 3 開催場所 市役所藤沢支所 中会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 小野寺健一委員（会長）、橋本信子委員、千田修委員
 - (2) 事務局 千葉紀代藤沢支所長、鈴木浩司代藤沢支所地域振興課長、伊藤歩藤沢支所地域振興課長補佐兼地域協働係長
 - (3) オブザー 株式会社一関ケーブルネットワーク（指定管理者）
清水祐喜取締役局長、藤根和広制作部副部長、川崎智弘営業技術部長代理
- 5 議題
 - (1) 令和6年度放送番組の実績（令和7年3月末現在）について（報告）
 - (2) 令和7年度放送番組の内容について（協議）
 - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 1人
- 8 挨拶
 - (1) 会長挨拶

出席者が3名と少数になりましたが、貴重な機会ですので委員の皆さんには積極的に意見をいただきたいと思います。

外で花などを見ると季節の移ろいを感じます。例えば、地域の新聞、テレビでも市内のあじさい祭りの様子なども知らされています。藤沢地域に住んでいると、他の地域の人たちから羨ましがられることがあります。それは色んなことについてはありますが、特にやはり、ふじさわテレビや告知放送があるという意味で言われることが多くあります。ただ、そういった恵まれた環境にある中でも、告知放送に加入していてもボリュームを下げているようにしているといった声があったりして、十分に活用しきれていない部分もあるので、やはり情報を提供するに際してはもっと広く視聴してもらえるような体制が必要だと思っております。

本日は、委員の皆さんが普段から感じている意見をお聞きし、今後の番組作りに反映させる機会としていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 藤沢支所長挨拶

委員の皆様におかれましてはご多忙のところご出席をいただきましてありがとうございます。また、日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただいております。重ねて感謝申し上げます。

一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会は、放送番組の適正化を図るため、放送法に基づき、一関市藤沢情報通信センター条例により設置し、年2回開催しております。当センターの放送番組につきましては、行政情報や地域のイベントなど、タイムリーな情報発信に努めているところです。

現在、ふじさわテレビの加入率を紹介しますと、藤沢地域の全世帯数に対して8割、告知放送は約9割の加入率で、告知放送については若干ではありますが減少傾向が見られるところがございます。光ファイバケーブルをNTTに貸し出してサービスを提供しているインターネットにつきましては6割を超える加入率となっており、こちらは逆に増加傾向がございます。

昨年、藤沢地域に移住されてきた若いご夫婦とお話する機会がありましたが、その方たちは、テレビよりもインターネットを重要視しているようでして、ふじさわテレビのことを紹介してはみたものの、加入する際の費用のこともあるようですが、インターネットがあれば良いというお考えのようで、時代の変化、社会の変化を感じたところでもございます。

藤沢情報通信センターの全体としては、転入・新築での新規加入がある一方で、転居や施設入所、あるいは一人暮らしの高齢者が亡くなられるといった事情での解約も増加しており、今後もこの傾向は続くものと予想しているところです。

それから、ふじさわテレビの「データ放送」をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリのサービスを開始しているところですが、こちらのアプリケーションは登録件数も少しずつではありますが増えてきている状況です。更なる情報発信に努め、アプリの利用件数の増加を図るとともに、藤沢地域の情報通信に係るサービスの維持、向上を引き続き図ってまいりたいと考えております。

本日は、皆様から忌憚のないご意見をお願い申し上げます。開会に当たっての挨拶といたします。本日はどうぞよろしく願いいたします。

9 審議内容

(1) 令和6年度放送番組の実績（令和7年3月末現在）について（報告）

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 告知放送は依頼に基づいて放送する体制となっているということはこれまでの会議でも聞いているが、先般、5月の行政区長会議の際に「いちのせきシェイクアウト訓練」の実施についてお知らせがあった。訓練の翌日に新聞の第1面に大きく、市内の学校での訓練の様子を写真で掲載していたが、それを見て、藤沢地域の住民の訓練の参加状況はどうだったのかということが気になった。放送の担当部署とすれば、お知らせの放送をして終わりということではなく、効果の検証も必要なのではないかと感じたが、いかがか。

事務局 いちのせきシェイクアウト訓練については、告知放送でも当日の訓練実施の周知を行ったところである。

実施状況の検証については、例年、訓練実施後に消防本部のほうで参加団体や人数を集約している。そういった情報を藤沢情報通信センターでも何らかの形で周知の必要性を検討したい。

委員 例えば、災害援護に関する名簿の紛失といったようなことも、その物を使わないから失くすのであって、訓練を実施する際に使用するなど、訓練は地域を挙げての一体的な取組にするべきと思う。訓練実施を周知する放送だけではせっかくの放送機能もったいない。

現在は、地域力がどんどん弱体化していく状況にある。2月に実施された地域づくりに関するワークショップの中で、参加者から「会議には参加しない方が良く、意見は言わない方が良く」といったような声もあった。行政からの働きかけにより力を入れていかないと、せっかく実施しても十分な効果を発揮しないのではないか。

より効果を上げるためにも、行政の内部でも連携を強化して、せっかくの放送機能なので、機会を捉えてより効果的に活用することを考えていってもらいたい思いから発言した。

委員 加入者が減少傾向にあるということで、死亡などでの解約というのは仕方のないことだと思うが、新規加入の状況というのはどうか。

事務局 転居、転入での新規加入が主なところ。転居・転入自体があまり多くはないが、最近の傾向では、新規加入の申込みのうちテレビ、告知放送とも加入する方というのは概ね半分程度で、半分はテレビだけの加入という状況。先日も、県外から移住されてきた方が藤沢情報通信センターの加入手続きに来所し、テレビと併せて告知放送の機能についても紹介したところ「情報があまり多いのも疲れる」というこ

とで、テレビのみ加入いただいた。

委員 通常から加入手続きの際には、テレビも告知放送も併せて案内をしているという
ことでよいか。

事務局 はい。

委員 告知放送に入らないのは、日中あまり家にいないという理由もあるか。

事務局 特に若い世帯では必要性を感じていない様子が見受けられる。

委員 告知放送ではJアラートも流しており必要な機能だということや、我々審議会
委員も含めて日頃から魅力ある番組提供を心掛けていかなければならない。本日
の会議の前に、ふじさわテレビの「マンスリーふじさわ」を見てきたが、子どもた
ちの田植え体験の様子の放送で、田んぼに入るのも初めてという子どももいて、そ
ういった番組一つ見ても気づかされることがある。藤沢地域だけのことでなく市
内の他の地域の様子も見られるのでありがたい。広報なども、合併して良かったと
思うのは、他の地域のことでも知ることができるというところだと思う。発信に力を
入れていく必要があると思うが、藤沢情報通信センターの加入については、窓口で
はどのような形で案内しているのか。

事務局 例えば、転入の手続きに窓口に来訪があった際には、藤沢情報通信センターの加
入手続きのために、窓口から地域振興課への案内があり、地域振興課ではチラシ等
を渡しながらか説明するという対応をしている。

(2) 令和7年度放送番組の内容について（協議）

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 PTAからの情報提供と要望を含めて2点ほど申し上げる。

藤沢小学校では今年度から学校ボランティアを募集し始めている。各地区の回
覧板を通じてボランティアを募集しているところだが、告知放送を活用させてい
ただければありがたい。

もう一つは、告知放送で放送する「火災予防のお知らせ」で、放送期間を通じて
「これからの季節は空気が乾燥し」と放送されている。おそらく原稿を作成した時
期が乾燥していない時期だったものと推察するが、既に乾燥期を過ぎた時期でも同
じ文言で放送されているので、消防本部と確認しながら、より確実な放送をして
いただくと良いと思う。

事務局 当課でも長期間同じ内容で放送する原稿について、放送期間の途中で時期に釣
り合わない表現が生じていることに気づいて修正することがある。今後も気を配

りながら適時適切な放送を行って参りたい。

また、学校ボランティアの募集については告知放送の活用はたしかに有効な手段と思うので、学校や担当係と調整した上で進めていきたい。

委員 説明のあったデータ放送の各種コンテンツの周知について、告知放送を利用するという事はしているか。

事務局 していない。

委員 告知放送の活用も周知の方法として有効だと思う。また、日頃から思っていたことだが、告知方法では通常、行事等の日程や概要をお知らせする内容になっている。例えば、市民劇場のお知らせなどでは、劇に出演するキャストによるコメントを放送している。そういった形でラジオの寸劇のような構成で放送するなど、より聞いてもらえるような工夫があっても良いのではないかと思う。

事務局 より広く利用してもらえるよう、コンテンツを手配している一関ケーブルネットワークとも協力しながら、周知に力を入れていきたい。

委員 告知放送の番組の放送時間に制約があるか。

事務局 放送法での規制ということではなく、防災マストなどと放送が重複しないような調整を行っている。

なお、通常の放送は、「朝のお知らせ」「夕方のお知らせ」を10分程度、「昼のお知らせ」「おやすみ番組」を5分程度での運用を行っている。また、「おやすみ番組」では、弔辞放送の有無で放送時間が長くなる場合がある。

委員 放送を聞き逃した場合の情報の確認方法をお知らせする工夫はあるか。

事務局 平成25年までは再放送ボタンを押すことで告知放送の再放送を聴くことができる仕様だった。以降は再放送ボタンにより「FMあすも」が流れる仕様に変更したため、告知放送の再放送という仕組みはなくなっている。ただし、告知放送の内容は基本的にデータ放送に掲載しているので、ふじさわテレビ又は「J Cスマート」で放送の内容を確認できるようになっており、毎日の「おやすみ番組」の終わりのコメントでその旨をお伝えしている。

委員 市長がよく当市のDX活用の水準が全国トップレベルだという話をするが、様々な取組が行われているのはそのとおりであろうが、サービスを受益する側から見たときに実感がない。各種サービスがもっと利用されるようにするには、実際に具体的な使い方を知らしめていく必要があると感じており、そういった部分への市の手当はまだ弱いように感じている。

事務局 「J Cスマート」のことについて申しますと、今後は「J C-スマート」の普及を推進していく方針としているので、誰にでもわかるような資料の作成、あるいは説明する場を設けるなどの対応をしていきたい。

10 その他

オプザバー 藤沢でこういったサービスが欲しいということで、テレビの送信の事業をさせていただいており、弊社としても間違いのない運用を心がけて日々努力している。藤沢地域へのエリア拡大に伴って、コミュニティチャンネルの方でだいぶ藤沢地域の話題を充実させ、番組供給をさせていただいている。今後とも情報提供があれば、取材し、お伝えする、そういったことで藤沢の地域振興への一助となっていきたいと考えているので、よろしくをお願いします。

11 担当課 藤沢支所地域振興課